

日時：1月28日 天気：曇り時々晴れ

参加者： 嶋原（L）、岡本、佐々木、大西（記）

寒い中、今日は、雪山登山です。スノーシューハイクは、二度目なので前日に装着の練習をしていたにも関わらず、当日は、歩いている最中に何度もベルトが緩み、その度にもたもたして時間をとってしまいました。

新大阪に集合し、岡本さんの車で出発。（7：40） 順調に車を走らせ、二時間程で目的に到着。マキノスキー場近くの駐車場に車を停めて、スキー場入口辺り迄歩き、登山の準備。スノーシューハイクは、暑くなるのを想定して上着を脱ぎ、リュックに押し込んだけれど、入らない…。それを見かねて、嶋原さんがご自分のリュックに入れてくれました。（有り難い）冬山登山は大き目のリュックにします。

マキノ高原のゲレンデからは、いきなり急斜面です。ふみ跡があるので、歩くのは楽ですが、30分も登ると汗だくでした。無理をせず、ぼちぼちと足を運ぶ。雪山は綺麗ですが、遠くはぼんやりしか望めないのが残念です。ブナの木平を超えると東屋があり、屋根には、こんもりと雪が積もっていました。中には人が休憩をとっていたので、そのまま立ち止まって水分補給。歩みを進め、峠辺りからは、チラチラと雪が降り、風も出てきました。一つ目の鉄塔を超えると寒さを感じる。

相変わらず稜線は望めない。二つ目の鉄塔近くを通り、15分程で山頂に到着。（12時頃）山頂は風も冷たくて、どちらを向いても雪が顔に当たり、冷たい。急いで記念撮影をして、山頂を後にする。寒風山はリーダーの判断で行かない事になりました。風の当たらない場所で休憩し昼食タイム。座って食事をしだすと、どんどん寒くなってきたので、早々に切り上げました。視界が悪くて、どうなるかと思いましたが、少し下ると大丈夫でした。相変わらず、スノーシューのベルトが緩み、東屋の手前辺りで左が外れ、片方だけ付けたまま歩き出したら右側も外れてしまう。危ない場所じゃなくて良かった。東屋の中で、私だけアイゼンを付けて歩くことになりました。スノーシューは、岡本さんが持ってくださいました。（有り難い）私の後ろを、歩いていた佐々木さんには、スノーシューのスタンドの上げ下ろしまでお世話になりました。（感謝）次に参加する時の教訓にします。皆さんありがとうございました。

怪我もなく、無事に下山でき、2時50分ゲレンデ入口に到着。帰り支度を済ませて、大阪へ。岡本さんは、千里中央迄皆を送り届けてから帰られました。往復の運転、有難うございました。お疲れ様です。



マキノトレッキングセンター



途中の東屋



赤坂山山頂